

令和8年度



給食だより



千歳市学校給食センター

10月22日は千歳市空港開港100年です

中学校は10月19日(月)、小学校は10月21日(水)に、100年前の「千歳空港の始まり」にちなんだ特別な献立を用意しました。



【空港 100 年の歴史】

今から 100 年前、千歳村に鉄道の駅ができ、小樽新聞社の※観楓会(※秋に紅葉を見て楽しむ会)で多くの人が来ることになりました。当時の千歳村には多くの人が食事をできるお店がなく、村人たちは手作りのごちそうでおもてなしをすることにしました。

その時のごちそうが、特産品のヤマブドウ、じゃがいも、三平汁といわれています。



※イラストはイメージ(AI 生成画像)です

新聞社の方は感激し、お礼として飛行機で空からチラシをまくことを提案しました。
すると村民は「飛行機を近くで見たい！」とお願いしました。

飛行機が着陸するには、広い場所が必要です。
村民たちは力を合わせ、たった2日間で飛行機の着陸場を完成させました。

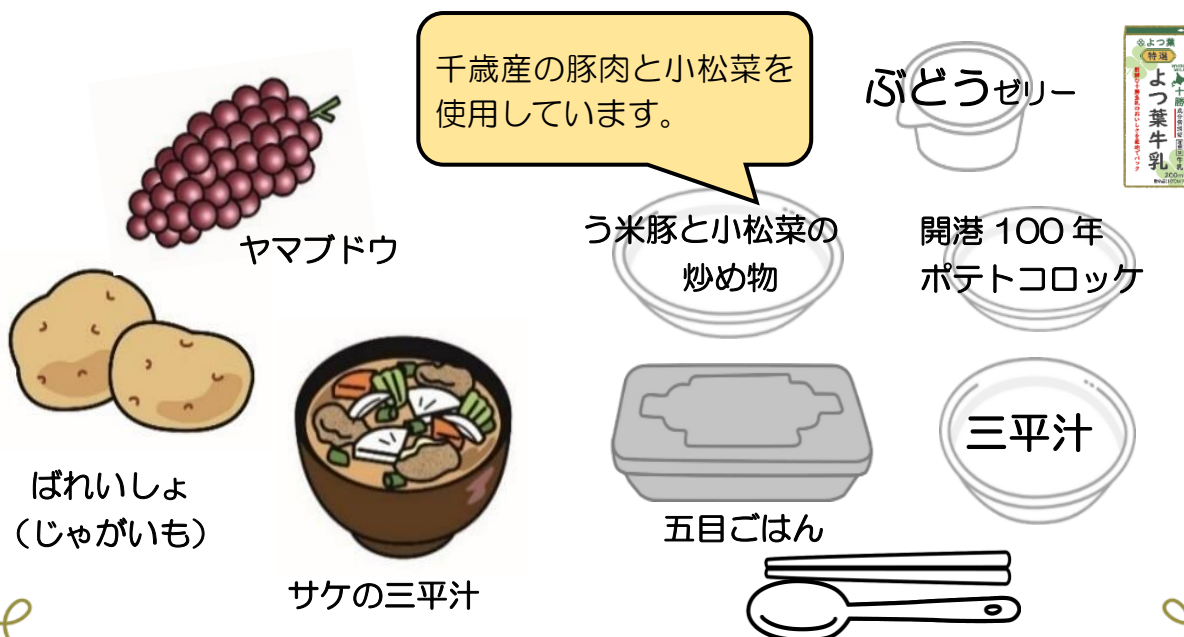


※イラストはイメージ(AI 生成画像)です

千歳市空港開港 100 年記念メニュー

当時の千歳村の人々が、新聞社の皆さんを地元食材でおもてなししたメニュー（サケの三平汁、ばれいしょ、ヤマブドウ）をもとにしています。

空港の歴史も知り、おいしく食べてもらえたら嬉しいです。



【開港 100 年ポテトコロッケとは・・・】

千歳市空港開港 100 年記念マンホールのふたのデザインをもとに、北海1号機を入れたポテトコロッケを特注しました！

揚げてもイラストや文字がつぶれないデザインにしました。



【開港 100 年ポテトコロッケのサンプルを試作している様子・・・】



①コロッケのサンプルが入荷



②フライヤーへ投入します！



③きれいに揚がるのかドキドキ・・・



④フライヤーの出口でコロッケが出てくるのを待ちます



⑤コロッケがきれいに揚げられました！

記念献立当日も無事揚げられますように・・・☆